

NEWSLETTER

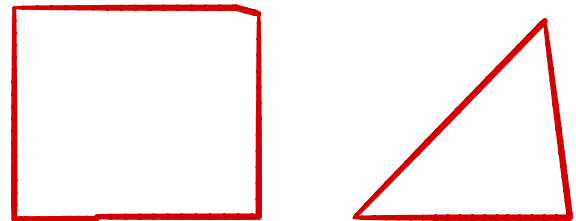
No112619

「ナンバーオペレーションの“道具”を使いこなす。」……これについて述べます。
ナンバーオペレーションは“マネーゲーム”ではありません。普通の「仕事」と変わりません。面倒な作業が伴います。それには道具が必要です。職人(プロ)仕様の道具を自分で備えることが求められます。

- ・マトリックス (数字の記録帳)
- ・バリューチェーン(これは記録して保存する必要はありません。オペレーションを実行する時にみえます。…数字の見ることに慣れる、さらに、一歩進んで数字を観察する眼力を養うことが求められます。)
- ・ノート/カード/ペン
- ・PC/エクセル(表計算ソフト・アプリケーション)
- ・ハンドテーブル(ハンド管理表)

*カードはなくてもいいですがあると便利です。

*グラフの類は必要ありません。



数値の変化に飛びついて行き当たりばったり(無計画に)オペレーションを実行しないようにノートにあらかじめプランをメモしておくといいでしょ。

ハンドテーブルは必須の道具と言ってもいいでしょう。

これなしに成功はできないと言っても過言ではありません。

扱う数量やハンドのタイプが増えるとハンドテーブルなしに効率的に対処できなくなります。

ハンドテーブルはエクセル(表計算ソフト)で作成してもマニュアル(手作業)で作成してもどちらでも構いません。一度は手書きで作成することをお勧めします。個々のハンドの繋がりが分かり、ナンバーオペレーションの本質が見えてきます。

上記の道具の中で私のグループで特に重視しているのはハンドテーブルです。スタッフがオペレーションについて私に報告する時は必ずハンドテーブルを送ってもらっています。何をやっているのが一目でわかり易いからです。

ハンドテーブルとマトリックスと照らし合わせて重ねてみましょう。

それら2つを合わせて“ハンドチェーン”と呼んでいます。

ハンドチェーンに、さらに、バリューチェーンを照らし合わせて見れば、ナンバーオペレーションの実践の本質的でより深い部分が見えてきます。

「道具を使いこなす」の“使いこなす”を英語では“have a good command of~”と言います。「~を思いのままに十分に役立たせて使う。」という意味です。ナンバーオペレーションでは、実践のための道具と理論的背景、からくり(数学的原理)がすべてつながっています。

ハンドテーブルとマトリックス/トライアングルを関連づけてご覧ください。